

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 計画担当課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト		
事務事業名	港湾計画の変更に係る環境影響評価			連絡先	052-654-7911
対象(誰・何を)	名古屋港港湾計画			連携課	環境担当
目的 意図(どうい う状態にしたいか)	環境の保全に関する資料(環境影響評価資料)を作成する			事業 期間	～継続
概要	港湾計画の変更を行う際に、港湾及びその周辺の大気環境や水環境等に与える影響を予測・評価し、環境の保全に関する資料を作成します。			根拠 法令等	港湾法第3条
令和元年度の実施予定	港湾計画を変更する際に、愛知県環境局など関係者と調整を図りながら環境の保全に関する資料を作成します。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	内港地区の専用埠頭計画に係る港湾計画の変更(軽易な変更)を実施し、環境の保全に関する資料を作成しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	-	-	4,587	4,587	
合計	千円	0	0	4,587	4,587	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
環境の保全に関する資料を作成した件数 (単年度管理型)	目標			1	1	港湾計画の変更と合わせて、環境の保全に関する資料を作成した件数。なお、港湾計画の変更がなかった年度は、実績を「0」で計上し、事業進捗状況を「目標値どおり」と評価します。	港湾計画変更
	実績	0	0	1			
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	港湾計画変更のスケジュールに合わせて事務事業を実施し、目標値どおりの成果を達成することができました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	港湾計画は、港湾法に基づいて港湾管理者が策定しなければならない事務事業です。					
事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	港湾計画を変更する際には、環境の保全に関する資料が必要です。					
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	良好な港湾環境の形成に向け、港湾計画を策定する段階において、港湾及びその周辺の環境に与える影響を把握しておく必要があります。					
期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性 最小のコストとなっているか?	○	関係機関と適宜協議を行いながら事務を進めました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港湾計画を変更する際に必要な業務のため。
課題		取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
2年度以降の取組			
環境の保全に関する資料の作成にあたっては、愛知県環境局などの関係者と調整しながら進める必要があります。		港湾計画の変更にあわせて、関係者と調整しながら変更内容に応じた環境の保全に関する資料を作成します。	